

北海道標茶高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において平成29年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	農業クラブ事業の工夫改善を行い校内事業を充実させ、クラブ員満足度80%以上を達成する	A	農業クラブ三大事業において入賞するために学習会を実施する。日本農業技術検定2級合格率100%を目指すため学習会の充実
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	国際交流、交換留学活動の推進と共に国際意識を育み視野を広くした教育を展開する	B	クルーズ船交流活動の取組を年4回以上実施、文化理解交流を充実させる
II 地域社会・産業 に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	食の6次産業化プロデューサー認証を推進し、農業理解者を育てる 品質管理の徹底、施設や設備の定期点検を行い食品加工品の維持管理に努める	B	地域のイベントや研究会への参加、地域産業へのつながりを構築する 法規に基づき、衛生環境づくりを行い、地域から必要とされる安全・安心な加工品の製造を行う
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	地域の環境に配慮した農業教育の推進を図り、地域が取り組む環境文化遺産の継承に努める 就業体験の取組を推進し、地域貢献できる人材を育てる	B	校地内資源を有効に活用した授業展開を行い地域への情報発信に努める 商工会、地域農協や関係機関との連携による就業体験を推進する
III 地球環境を守り 創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	地域産業と自然環境の調和を追求し、循環型農業の推進を図る	B	家畜糞尿を固液分離してつくられた液肥・完熟堆肥をほ場へ還元する
	⑥「食農」教育を推進します。	地域の異校種交流実施を行う。また、ボランティア活動などへの意識高揚を図る	B	小中学校を対象として地域環境を学ぶ体験学習などを実施する
IV 地域交流の拠点 となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	地域と連携して地域資源を活用した商品開発に取り組む	B	釧路管内における特産品を有効活用し、地産地消を目的とした商品の開発・研究を行う
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	生徒が主体的に活動できる環境を整え、地域交流の取組を推進する	B	釧路空港線花壇造成に取り組むまた、地域の方々と農産物生産について学ぶ取組を行う
V 地域防災を推進 する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	地域連携事業の展開を行い農場を活用した連携教育を展開する	B	地域のジュニアホルスタインクラブなど農協と連携した取組を継続して行う
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	食に関する安全・安心に係わる技能と意識向上を図る	B	食品表示、品質管理に関する衛生教育を実施する